

「ねんきん特別便」大幅改良

～高齢者にもわかりやすく～

～新年ご挨拶～

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年は厚生労働大臣政務官に就任させて頂きました。政務官としては最年少ながら、特に注目の集まる年金や薬害肝炎の問題に体当たりで挑みました。

原油高などの経済不安、ねじれ国会による政治の不安定化、さらに政治不信が広まる中、政治家には身を犠牲にして闘う覚悟が求められます。志を曲げることなく、今年も活動して参ります。

厚生労働大臣政務官
衆議院議員

松本健太

◆1億人への手紙、全面改良

昨年12月から「ねんきん特別便」の発送が始まりました。これは年金の加入記録をご確認頂くためのものです。

まずは基礎年金番号に統合されていない5000万件の記録について、名寄せプログラムで結びつく可能性のある方に送られます。そして今年10月までに、すべての受給者、加入者にご本人の記録をご確認頂くために送られます。

約1億人に送られる大切な書類ですが、当初は社会保険庁の古い役所体質が抜けきらないものでした。舛添大臣の命を受け、お年寄りや年金に詳しくない方々の視点に立って、書き直しをさせて頂きました。

◆共済制度と連携、タテ割りに挑む→

年金には国民年金や厚生年金がありますが、社会保険庁が管轄するのは、これに船員保険を加えた3種類。公務員などが加入する共済は管轄外であり、当初は共済の訂正は社会保険庁では受け付けず、各共済組合などに直接問い合わせるように計画されていました。

しかし私は、加入記録に共済が含まれる以上、タテ割り意識を脱し、社会保険庁が共済分の記録訂正を各共済に橋渡しするよう指示。総務省などと連携して、右図の決定版①のように訂正用紙に共済を加えました。

◆文字数半減、視覚化図る→

また当初案は、説明に不備がないようにとの観点から、役所言葉で細かい文字が散りばめられ、説明を含めて8ページにも及ぶものでした。

私はこれを6ページにしたうえで、文字数も半分にしました。さらに高齢者の皆様にも読みやすいように文字を大きくし、図を挿入するなどして決定版②のように改良しました。

今後も皆様の年金が適切にお支払されるよう努めてまいります。「ねんきん特別便」につきましてご不明な点、お気づきの点がございましたら最寄の社会保険事務所にお問合せ下さい。

(当初案①)

(決定版①) 加入制度に「共」が加わった

(当初案②)

(決定版②)